

スル之ヲ赤松則祐ニ與フ、正平十六年、山名時氏、南朝ニ歸順シ、大舉シテ來攻メ、諸城ヲ拔キ、悉ク全州ヲ併ス、既ニシテ足利義詮ニ降リ、因テ守護トナリ、子氏清ニ傳フ、元中八年、氏清誅ニ伏シ、將軍義滿再ビ則祐ノ子義則ヲ以テ守護トナス、義則ノ子滿祐誅セラレ、山名持豐ノ弟熙高、代テ守護トナル、文明ノ初、州内擾亂、赤松政則隙ニ乘ジテ來襲ヒ、遂ニ之ヲ取ル、子義村其臣浦上村宗ニ弑セラレ、村宗後藤氏守美作ト各半州ニ據ル、天正ノ初、浦上ノ家臣宇喜多直家後藤勝基ヲ誘殺シ、盡ク全州ヲ奪フ、關原ノ役、宇喜多氏亡ビ、德川氏、小早川秀秋ニ加賜ス、秀秋卒シ、森忠政代リ封セラレ、萬石、拾八津山ニ治ス、元祿中、國除シ、松平宣富ヲ津山ニ封ズ、拾萬寶曆中、三浦明次、勝山ニ封セラレ、後眞島ト改ム、共ニ三藩、慶應三年、松平武聰、石見ノ濱田ヨリ鶴田タカタ久米北條郡ニ徙リ、三藩トナル、王政革新、皆改テ縣トナシ、又廢シテ北條縣ヲ置、

〔續日本紀元六〕和銅六年四月乙未、割備前國六郡、始置美作國、

〔伊呂波字類抄見〕美作國管八、舊記云、和銅六年、四月、依備前守百濟南曲介堅身等、割備前六郡、始置美作國云々、但風土記以上、毛野堅身、便爲國守、又或古記云、百濟南曲者、

〔續日本紀元六〕和銅七年十月丁卯、從五位下津守連通爲美作守、

〔吾妻鏡三〕壽永三年元曆二月十八日丁丑、武衛源賴朝被發、御使於京都、是洛陽警固以下事、所被仰也、又播磨美作略已上五箇國、景時原實平肥等、遣專使、可令守護之由云云、

〔倭名類聚抄五〕美作國程上七日、下四日、

〔伊呂波字類抄見〕美作國中略府 苦東 トマヒンカシ

〔倭名類聚抄五〕美作略管七略英多安伊勝田加豆苦田有東苦田西久米 大庭於保眞島無波

萬志

〔延喜式民部〕美作國上管

英多アイタ勝田カツマタ苦東トマヒンカシ苦西トマニシ  
久米クミ大庭オホニハ眞島マシマ○中略

右爲近國